

◎ 美術館情報

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の中止や開催期間の変更、および入館方法等が変更になっています。

状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

1. サンリツ服部美術館 【長野・諏訪】

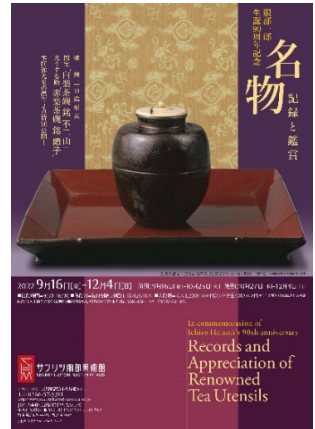
(<http://www.sunritz-hattori-museum.or.jp/schedule/next.html>)

前期：9月16日(金)～10月25日(火)

後期：10月27日(木)～12月4日(日)

企画展：服部一郎 生誕90周年記念 名物 記録と鑑賞

この度、サンリツ服部美術館では、名物記の変遷をたどりながら茶道具の名品をご紹介します。また、本展では近年収蔵いたしました茶道具も初公開いたします。茶人たちが憧れた名物の世界とともに、当館に新たに加わりました魅力あふれる茶道具の数々をぜひご堪能ください。



2. Bunkamura ザ・ミュージアム 【東京・渋谷】 (https://www.bunkamura.co.jp/museum/exhibition/22_iittala/#point)

9月17日(土)～11月10日(木)

企画展：イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき

フィンランドを代表するライフスタイルブランド、イッタラ。1881年にフィンランド南部のイッタラ村に設立されたガラス工場からスタートした同ブランドは、アルヴァ・アアルトやカイ・フランクらフィンランドデザインの発展を牽引した建築家やデザイナーとともに歩んできました。美しさと機能性をすべての人へ提供するという彼らの思想のもと送り出されてきたプロダクトは、今なお世界中で愛され続けています。本展はイッタラ創立140周年を記念し、フィンランド・デザイン・ミュージアムが2021年に開催した展覧会を再構成し、更に日本展ではイッタラと日本の関係に焦点を当てた章を加えて展開します。イッタラの歩みを象徴する20世紀半ばのクラシックデザインのガラスを中心に、陶器や磁器、映像やインスタレーションを交えた約450点を通してその技術と哲学、デザインの美学に迫ります。イッタラのプロダクトの歴史を見れば、ひとつのブランドとしての枠組みを超えて、デザイン史、フィンランドの文化と社会情勢、人々のライフスタイルの変化などの背景と深く結びついていることが明らかになるでしょう。時代を超えて今なお多面的に輝き続けるイッタラの世界を、ぜひご堪能ください。



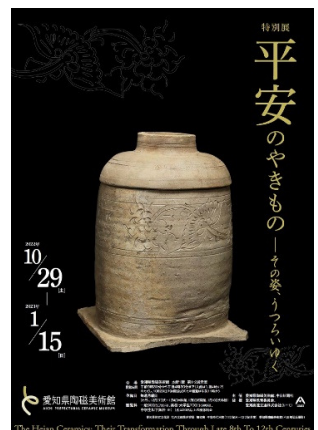
3. 愛知県陶磁美術館 【愛知・瀬戸】

(https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2022/t_heian/index.html)

10月29日(土)～令和5年1月15日(日)

特別展：平安のやきもの—その姿、うつろいゆく

平安時代(8世紀末～12世紀)には、古代日本で最も豊かなやきもの文化が花開きました。平安のやきものは、奈良時代までに発達した技術と造形、それに珍重された金属器や中国陶磁の形が融合、さらに仏教文化の変遷のなかで、重層的なデザインの移り変わりをみせました。本展では、緑釉・灰釉陶器という当時の二大陶器と、その系譜を引く国産陶器に焦点をあて、関連する須恵器や金属器、中国陶磁を交えつつ、平安のやきもの400年の魅力に迫ります。



4.多治見市美濃焼ミュージアム【岐阜・多治見】

タイル名称統一 100 周年記念 巡回企画展 「日本のタイル 100 年 美と用のあゆみ」

9 月 17 日(土)～令和 5 年 1 月 29 日(日)

本展は、INAX ライブミュージアム、江戸東京たてももの園と多治見市モザイクタイルミュージアムの 3 館共同企画として巡回する展覧会であり、日本で「タイル」と呼ばれるようになったやきものの現在に至る 100 年間のあゆみを辿り、未来へ向けた第一歩にしようとする巡回企画展です。本展を通して、美と用の間でタイルが果たしてきた役割を振り返り、タイルを通して見えてくる暮らしや建築の未来を考える機会となれば幸いです。



◇INAX ライブミュージアム協力企画 「光るどろだんご」

日本で「タイル」と呼ばれるようになったやきものの現在に至る100年間のあゆみを辿り、未来へ向けた第一歩にしようとする巡回企画展の関連イベントとして INAX ライブミュージアムから特別に講師をお招きし、「光るどろだんご」のワークショップを下記の通り開催します。砂場で作るどろだんごとは全く違う方法で、粘土の球を削り、色をのせ、磨いて、光る球体に仕上げていきます。

日時： 2022 年 10 月 29 日(土)
 ①13:00～14:00
 ②14:30～15:30
 場所： 多治見市美濃焼ミュージアム 会議研究室
 対象： 小学校 4 年生以上～大人
 参加費： 900 円 ※参加には別途観覧料が必要。
 定員 各 20 名
 講師： 磯村司 (INAX ライブミュージアム)
 持ち物： 手をふくタオル
 お申込み： 多治見市美濃焼ミュージアム 受付
 または電話にて
 TEL: 0572-23-1191

